

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-200	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	C I 183-901	CREATIVE English Communication I NEW EDITION		

1. 編修の基本方針

- (1) 音声、表現、文法などといった英語の言語知識や五つの領域の活動に役立つ知識を理解し、それらを実際の言語活動で活用できる技能を身につけられるようにした。
- (2) 各レッスンの題材は、知識として知っておきたい内容であるばかりでなく、豊かな思考力を育める内容とした。また、我が国および世界の文化への理解を促し、自分を取り巻く世界に広く目を向けることができるように留意した。
- (3) 各レッスンの題材内容の要点などを的確に理解し、理解した内容を活用して、表現したり伝え合ったりすることができるよう、五つの領域の言語活動およびそれらを統合した言語活動を豊富に提供する構成とした。
- (4) 英語と日本語の表現形式の違いなどに注意して、積極的に英語を使ってコミュニケーションを図ろうとする態度を育成し、これからの国際社会に生きる日本人として必要なコミュニケーション能力を養うことができるように配慮した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
題材／言語活動	① 高校生にとって身近で日常的な話題のみならず、知的で確かな教養を与える内容や知的な好奇心を喚起する内容を中心とした。(第 1 号)	Lesson 1 ～ 10、Optional Lesson
	② 夢の実現に向かって自主的に努力するアスリートの姿を紹介し、生徒各自の夢の実現に向けてどのようなことをすべきかについて発信する。(第 2 号)	Lesson 1
	③ 「味」以外においしさに関わる要素を理解し、自身の日常生活と関連させながら発信する (第 2 号)	Lesson 2
	④ 戦時下にもかかわらず、自身の作品を守り、作品の出版にまで至ったクリエイターのストーリーを読み取る。(第 2 号)	Lesson 5
	⑤ 日本と他国の成人年齢を比較しながら、大人になるために必要な要素について考える。(第 2 号)	Lesson 10
	⑥ 健康を芸術と関連させながら、医療現場での患者と医療従事者の幸福について考える。(第 3 号)	Lesson 6
	⑦ 被爆者としての道義的責任を感じながら活動している女性を取り上げた。(第 3 号)	Lesson 8
	⑧ 携帯電話や AI といった社会を豊かにしうるテクノロジーについて理解し、それらが未来において発展している姿について想像して表現する。(第 3 号)	Lesson 3・9
	⑨ 絶滅危惧動物の実態を知り、その保全に向けてできることを表現する。また、海洋プラスチック汚染のメカニズムについて理解し、汚染拡大を阻止するための対策を考える。(第 4 号)	Lesson 4・7
	⑩ 第二次世界大戦や太平洋戦争の歴史を学び、平和についての生徒自身の考えを表現する。(第 5 号)	Lesson 5・8

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 本文への導入ページ、本文ページ、本文で学習した内容を深めるページという、一連の学習の流れをわかりやすくし、段階的に学習できるようにした。
- 各レッスンの冒頭にはレッスン全体の学習目標を、各パートにはパート別の学習目標を明示し、生徒の主体的な学びと学習意欲の継続に資するようにした。さらに、後見返しには教科書全体における五つの領域別の **CAN-DO** リストも設けている。
- どの領域の言語活動を行うかをわかりやすくするために、各言語活動には五つの領域別のアイコンを置いた。統合的な言語活動を行うことを想定した箇所には複数の領域のアイコンを設置している。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
- 言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた **Focus on Five Skill Areas** を設けた。また、巻頭には **For Communication** を設け、教科書全体を通して言語活動をする上での基本事項をまとめた。
- 本文内容に関連した背景情報をまとめた特集ページ **Did You Know?** を設けた。また、各レッスン冒頭には内容的に関連している他教科や **SDGs** を示した。英語の言語知識やコミュニケーション能力以外にも、さまざまな教養を涵養できるようにした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学校	教科	種 目	学年
106-200	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
183 第一	C I 183-901	CREATIVE English Communication I NEW EDITION		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

編修の基本方針

- 何ができるようになるか、どのように学ぶかを明示し、主体的な学びを促進
 - ・どのような言語活動を行うかを含む学習目標を、各レッスンの冒頭と各パートなどに示し、主体的に学習に取り組めるようにした。
 - ・各レッスンで取り上げた題材は課題解決型の本文とし、レッスン末の Your Performance はレッスン全体にかかわる課題を解決する言語活動である。
 - ・後見返しには、教科書全体における五つの領域別の CAN-DO リストを示した。
- 必然性のあるコミュニケーション場面における言語活動で、思考力や判断力を育成
 - ・「英語コミュニケーション I」の五つの領域別の目標を実現するために設定した言語活動に、領域別のアイコンを置くことで、目標と言語活動との関係を明示した。各レッスンで五つの領域すべてを扱うことができるようにした。
 - ・言語活動を充実させるべく、五つの領域に関する言語活動においてポイントとなる内容をまとめた Focus on Five Skill Areas を設けた。
 - ・Focus on Five Skill Areas は、日本語と英語の言語特性の違いなどといった「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を念頭にまとめた。
 - ・各レッスンの Activity Plus はスピーチやプレゼンテーション、ウェブ上の記事など、課題を解決するために必然性のあるコミュニケーション場面を多く設定し、言語活動がより活性化するよう配慮した。
- 音声、語、文法事項などの「知識」は「活用」することを重視
 - ・Sound Focus および Word Focus は、音声知識や語彙知識を実際に活用することを想定した記述となるように心がけた。
 - ・Focus on Language の Exercises は文法知識の活用を意識した問題も取り入れた。接続詞や前置詞については、それらを含む重要表現などを本文に出現させた。
 - ・巻末付録「発音してみよう」は各音素の知識の提示だけでなく、実際に発音してみる活動とした。
- 他の教科等で学習した内容や ESD 教育に対応
 - ・教科学習と外国語学習を統合する CLIL (内容言語統合型学習) の考え方も背景に題材を選定した。
 - ・他教科で学習する内容を、複数のレッスンの題材として取り上げたことにより、各学校における教科横断・教科連携型の授業に対応できる。
 - ・関連教科とともに、関連する SDGs についても示した。現代の諸課題を認識し、対話的な言語活動などによって問題解決能力が育成されることを期待した。

本課の構成と特色

- (1) レッスン扉
 - ・Get Ready : 英語を聞き、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。
 - ・Goals for Lesson 1 など : 「思考・判断・表現」「知識・技能」「主体的に学習に取り組む態度」という観点別のレッスン全体の目標。
 - ・内容的に関連している他教科や SDGs も提示。
- (2) Did You Know?
 - ・本文を読んだり、表現活動をしたりする際に参考にしたい背景情報。
- (3) Part 1~3

- ・リード文：本文の導入となる内容の提示。
- ・本文：パラグラフの先頭にパラグラフ番号を付した。また、各文の先頭には文番号を付した。行間の「G-1」などは Grammar で取り上げた内容であることを示す。
- ・Goals：「思考・判断・表現」、「知識・技能」の観点からの各パートの目標。
- ・New Words：新出単語と発音記号。CEFR-J Wordlist の A2 レベルの語は、表現活動でも積極的に用いたい「発信語彙」として赤字にし、他の語と区別した。また、国名などを除く固有名詞等も異なるフォントを用いて区別した。アクセントや発音に注意すべき語にはそれぞれマークを付した。
- ・Phrases：重要表現と例文。
- ・Sound Focus：新出単語の発音に関するコラム。
- ・Word Focus：新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・脚注部：文法事項の例文。
- ・Questions：各パラグラフの要点を確認する問題。
- ・True or False：本文の内容をリスニングによって確認する問題。
- ・Now You Say It!：本文内容を参考にして、自分自身の考えなどを表現する活動。

(4) Bird's-Eye Viewing

- ・本文：Part 1～3 の本文をまとめて再掲した。80wpm と 100wpm を音読の目標時間に設定し、それぞれに対し読む速さの目安時間を示した。
- ・Words & Phrases：新出語・新出表現以外で本文に出現した重要なものについて、そのそれぞれの英英定義と結びつける問題。
- ・Rapid Reading：Part 1～3 を再度通読したうえで、その概要をまとめる活動。

(5) Make It Your Own!

- ・Summarize：Part 1～3 の本文内容を視覚的にわかりやすくまとめる問題。
- ・Retell：上でまとめた内容を活用して、本文内容を伝える活動。

(6) Focus on Language

- ・Goals：「知識・技能」の観点からの目標。
- ・Grammar：文法事項の説明と例文。
- ・Exercises：A 問は、整序作文や与えられた状況に適した英文を完成させる問題などによって、重要表現の理解を試す問題である。B 問および C 問は、文法知識を活用して話したり書いたりする言語活動としている。

(7) Activity Plus

- ・見出し：コミュニケーションの場面の提示。
- ・リード文：本文の導入となる内容の提示。
- ・Goals：「思考・判断・表現」、「知識・技能」の観点からの目標。
- ・本文：コミュニケーションの場面にあわせたさまざまなテキストタイプの本文を聞いたり読んだりする活動。聞く活動のスクリプトには、語などの学習すべき言語材料が含まれているため、巻末の「スクリプト集」にスクリプトを掲載し、その内容をふり返りやすくさせた。
- ・New Words：新出単語と発音記号。
- ・Phrases：重要表現と例文。
- ・Sound Focus：新出単語の発音に関するコラム。
- ・Word Focus：新出単語の語彙情報に関するコラム。
- ・Comprehension：聞いたり読んだりした本文内容をまとめる問題。
- ・Your Performance：上でまとめた内容を参考に、レッスン全体の課題解決として自分自身の考えなどを表現する活動。

その他の特色

- Focus on Five Skill Areas（五つの領域の活動に役立つ英語の特徴などをまとめたページ。）
- 生徒の自学自習への配慮（二次元コードや URL から動画の視聴や、本文を表示しながら音声を読んだり、新出語の英英定義を確認したりすることが可能。）
- カリキュラム・マネジメント対応（各パート 2 ページ構成で、組織的な授業計画が可能）
- 特別支援への目配り（学習内容を視覚的に示すアイコン、学習要素の提示方法や位置を基本的に固定）
- 中学校での学習からの円滑な接続（中学既習の文法事項も収録。）

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
1. Lesson 1～10 ①Get Ready 写真を見ながら英語を聞く。その後、聞いた英語と写真を参考にして、問いに対する自分自身の考えなどを話して伝え合う活動。	2 内容 (2) ア、イ、ウ (3)① ア、イ、エ 3 内容の取扱い (1)	p.14、28、42、56、72、86、100、116、130、144	別表
②Part 1～3 (本文、「Questions」および「True or False」) 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い (1)	p.16-21、30-35、44-49、58-63、74-79、88-93、102-107、118-123、132-137、146-151	
③Part 1～3 (Now You Say It!) 本文を読んで得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ、ウ (3)① オ 3 内容の取扱い (1)	p.16-21、30-35、44-49、58-63、74-79、88-93、102-107、118-123、132-137、146-151	
④Part 1～3 (New Words、Phrases、Sound Focus、Word Focus、文構造・文法事項の例文) Bird's-Eye Viewing (Words & Phrases) Activity Plus (New Words、Phrases、Sound Focus、Word Focus)	2 内容 (1) ア、ウ、エ 3 内容の取扱い (2)	p.16-21、23、26、30-35、37、40、44-49、51、54、58-63、65、68、74-79、81、84、88-93、95、98、102-107、109、112、118-123、125、128、132-137、139、142、146-151、153、156	
⑤Make It Your Own! (Summarize、Retell) 本文の要点をまとめる問題。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い (1)	p.24、38、52、66、82、96、110、126、140、154	
⑥Focus on Language (Grammar、Exercises) 文構造・文法事項のまとめ。文構造・文法事項を活用する活動。	2 内容 (1) エ (別表参照) 3 内容の取扱い (2)	p.25、39、53、67、83、97、111、127、141、155	
⑦Activity Plus (本文、Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を読み取り、要点をまとめる問題。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ (3)② ア、イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.26-27、68-69、112-113	
⑧Activity Plus (本文、Comprehension) さまざまなテキストタイプの本文から必要な情報を聞き取ったり、読み取ったりし、要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、イ、ウ (3)② ア、イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.40-41、54-55、84-85、98-99、128-129、142-143、156-157	
⑨Activity Plus (Your Performance) 本文を聞いたり読んだりして得られた情報を活用して、自分自身の考えなどを表現する活動。	2 内容 (2) イ、ウ (3)① エ、オ、カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)	p.27、41、55、69、85、99、113、129、143、157	

2. Warm-up、For Communication、Focus on Five Skill Areas 英語の基本、英語の特徴などのまとめと練習問題。	2 内容 (1) ア、イ (別表参照) (3)① ア、イ、ウ、エ、オ、カ (3)② イ (別表参照) 3 内容の取扱い (1)(2)	p.6-13、70-71、114-115、158-159
3. Optional Lesson ①Part 1～4 (本文、「Questions」および「True or False」) 本文から必要な情報を読み取り、要点を把握する活動。	2 内容 (2) ア (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い (1)	p.160-167
②Part 1～4 (New Words、Phrases、Word Focus)	2 内容 (1) ア、ウ 3 内容の取扱い (2)	p.160-167
③Make It Your Own! (Summarize、Retell) 本文の要点をまとめる活動。また、まとめた内容を伝える活動。	2 内容 (2) ア、イ (3)① ア、ウ 3 内容の取扱い (1)	p.168-169
4. 発音してみよう	2 内容 (1) ア	p.172-175
5. List of Phrases / List of Words	2 内容 (1) ウ	p.179-183

<別表> L : Lesson / OL : Optional Lesson / AP : Activity Plus

課	タイトル 内容 (関連教科など)	・文構造・文法事項 ・英語の特徴など	・テキストタイプ ・言語の働き	配当 時数
	Warm-up、For Communication	<ul style="list-style-type: none"> 日本語と英語の語順の違い 意味のまとまり リズム・イントネーション 音の変化 句読法 コミュニケーション活動のコツ 	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打つ／聞き直す／共感する／驚く／質問する／理由を述べる 	1
L1	The First Step Toward Your Goals 目標設定の大切さと大谷翔平選手について	<ul style="list-style-type: none"> to-不定詞 動名詞 	<ul style="list-style-type: none"> Mini-Target Achievement Sheet (AP) 望む／説明する／理由を述べる 	7
L2	Where Does “Good Taste” Come From? 味以外がおいしさに与える影響について (家庭)	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了形 分詞の形容詞用法 	<ul style="list-style-type: none"> Short Speech (AP) 話題を発展させる／説明する／描写する／理由を述べる 	7
L3	The Rise of the Smart Age 携帯電話の発展の歴史 (情報、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 現在完了進行形 関係代名詞 	<ul style="list-style-type: none"> Presentation (AP) 要約する／描写する／発表する 	7
L4	A Healthy Planet 絶滅危惧種の保護のあり方 (理科、SDGs)	<ul style="list-style-type: none"> 助動詞+be+過去分詞 It seems that ... 	<ul style="list-style-type: none"> Poster (AP) 要約する／説明する／理由を述べる 	7
	Focus on Five Skill Areas 1	<ul style="list-style-type: none"> ディスコースマーカー ショートスピーチ プレゼンテーション 		1
L5	The Adventures of <i>Curious George's</i> Creators	<ul style="list-style-type: none"> 知覚動詞・使役動詞+O+C (=原形不定詞) 	<ul style="list-style-type: none"> Interview (AP) 質問する／描写する／説明 	7

	『おさるのジョージ』の作者の人生（地理歴史、SDGs）	・関係代名詞 what	する／理由を述べる	
L6	Art Meets Health in Hospitals 芸術と健康の関係について（SDGs）	・過去完了（進行）形 ・S+V+O+O（＝疑問詞節）	・Presentation（AP） ・描写する／理由を述べる／推論する	7
L7	To Stop Plastic Pollution 海洋プラスチック汚染の実態（公民、理科、SDGs）	・S+V+it+C+to不定詞 ・関係副詞	・Website（AP） ・要約する／説明する／理由を述べる／主張する	7
Focus on Five Skill Areas 2		・主題文と支持文 ・インタビュー ・パラグラフ・ライティング		1
L8	Stories to Be Passed On 近藤紘子さんのストーリー（地理歴史、公民、SDGs）	・仮定法過去 ・仮定法過去完了	・Discussion（AP） ・要約する／主張する／理由を述べる／定義する	7
L9	Will Human Beings and AI Go Hand in Hand? 将来の人間とAIのあるべき姿（公民、情報、SDGs）	・分詞構文（現在分詞） ・関係詞の非制限用法	・Mini-Debate（AP） ・説明する／要約する／理由を述べる／反対する	7
L10	When Do We Become an Adult? 自分にとって大人になるとは（保健体育）	・分詞構文（過去分詞） ・さまざまな助動詞	・Speech（AP） ・望む／説明する／理由を述べる	7
Focus on Five Skill Areas 3		・キーワード、言い換え表現 ・ディスカッション ・ディベート		1
OL	Access to Water – The Marvels of Ancient Rome – ローマ水道について			5
発音してみよう				1
			計	80